

平成28年3月15日

プレスリリース

鹿児島県農業開発総合センター

# 白系秋輪ギク「立神」<sup>りゅうじん</sup>「冬馬」<sup>とうま</sup>の育成

～ボリュームや低温開花性に優れた新品種～

～概要～

輪ギクはお葬式やお墓参り等になくてはならない日本を代表する切り花です。鹿児島県は、輪ギクの栽培面積が全国第6位(H26)のキク生産県ですが、生産現場では昨今の燃料費の高騰が大きな問題となっていました。そこで、農業開発総合センターでは日本原子力研究開発機構と共同で、「神馬」系の品種にがん治療にも使用される粒子線のイオンビームを照射して、品種改良に取り組みました。その結果、従来の品種よりも冬場の低温条件で安定して開花し、品質の優れる「立神」、「冬馬」を育成しました。



鹿児島県農業開発総合センター TEL:099-245-1114  
<http://www.pref.kagoshima.jp/ag11>

## ○ 育成の背景

本県は白系秋輪ギク「神馬」にイオンビームを照射して、芽かき作業などの栽培の省力が可能なる「新神」を育成しました(平成15年)。「新神」は、品質は良好ですが、低温で開花が遅れます。そこで、無側枝性、ボリューム、低温開花性を併せ持つ品種の育成を目指し、「新神」の再改良に取り組みました。

## ○ 育成の経過

「立神」、「冬馬」は、「新神」に再度イオンビームを照射し、優良な個体や系統を絞り込み、現地試験を行って、特性の優れた2系統として育成しました。また、切り花の重要な特性である水揚げや花持ちについても、十分な検討を行っています。

## ○ 特徴

### 【「立神」の特徴】

- ・花が大きい
- ・冬期(11月から3月出し)の品質が安定
- ・低温期の商品化率向上が可能

### 【「冬馬」の特徴】

- ・花が大きい
- ・低温期の草丈伸長が特に良好
- ・冬期の商品化率向上が可能

## ○ 種苗供給について

「立神」は、27年度から県フラワーセンターより種苗供給が開始されています。「冬馬」は、28年度から供給される見込みです。

「立神」、「冬馬」の栽培には県の許諾が必要です。栽培希望の場合は、最寄りの地域振興局農政普及課または農業開発総合センターにお問い合わせください。

